

第9回 イノベーションハブ京都 交流会

今回のIHK交流会は、(社)日本医工ものづくりコモンズ専務理事の柏野聡彦先生をお招きし、臨床ニーズ起点の医工連携についてご講演いただくと共に、医工連携を実践しておられる企業からもお二人にお越しいただき、医工連携成功のポイントについてお話いただきます。

医療機器開発、医工連携にご関心をお持ちの研究者・学生・企業の皆様は奮ってご参加ください。

日時： 2018年6月6日(水) 18:00～20:30

参加無料

会場： 医薬系総合研究棟 3階 セミナー室

対象： オープン(学内外の研究者、学生、社会人)

共催： 京都大学「医学領域」産学連携推進機構

京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター

プログラム

18:00～ 基調講演

臨床ニーズから始まる医工連携の道筋
～臨床・製販・ものづくりの3者連携モデルの実際～
(社)日本医工ものづくりコモンズ 専務理事 柏野聡彦

19:00～ 特別講演①

(仮)製販企業を遠慮なく使い倒して医工連携を進めよう
(株)フジタ医科器械 代表取締役社長 前多宏信

19:30～ 特別講演②

(仮)ものづくり企業の皆様が製販企業と連携するためのポイント
(株)常光 札幌研究開発 薬袋博信

20:00～ 懇親会(名刺交換会)

参加申込(〆切:5/28) <https://bit.ly/2IAE7lp>

※締切前であっても、定員になり次第、締め切らせていただきます。



講師略歴

柏野 聡彦(かしの としひこ)

(社)日本医工ものづくりコモンズ 専務理事
東京都医工連携HUB機構 プロジェクトマネージャー
(株)考える学校 代表取締役
(株)日本医工研究所 理事長



【専門】医療機器産業, 医工連携による地域産業活性化

【略歴】1998年3月、筑波大学大学院理工学研究科修了。同年、総合シンクタンク入社(2016年4月退職)。医療機器産業に関わる多くの調査研究・コンサルティングを経験。2010年度には経済産業省「課題解決型医療機器等開発事業(現在のAMED医工連携事業化推進事業)」の初代の事業管理支援法人として、本事業のスタートアップに携わる。

東京慈恵会医科大学ME研究室訪問研究員や東京大学大学院医学系研究科客員研究員などを歴任。2013年9月から(社)日本医工ものづくりコモンズ 理事、2016年5月から同専務理事、現職。

最近では、医療機器特有の市場や法規制に関するノウハウを有する「製販企業」に注目し、**製販企業ともものづくり企業との連携による無理なく円滑な医工連携のかたち「製販ドリブンモデル」**を提唱、全国各地の行政機関とともに製販ドリブンモデルの実践に注力している。

2015年7月～現在、東京都医工連携HUB機構プロジェクトマネージャー。2016年2月～2017年3月、AMED臨床ニーズ抽出委員会(企業への橋渡し委員会)委員。2016年6月～2017年3月、経済産業省関東経済産業局「関東メディカルオープンイノベーションプラットフォーム構築事業」プロジェクトマネージャー。2016年6月～2017年3月、AMED「医工連携における知財権の活用に関する調査研究」委員会委員。2017年4月～、AMED「医工連携事業化推進事業」課題評価委員会委員。2018年1月～3月、AMED 科学技術調査員。

【受賞】2016年6月、著書**「無理なく円滑な医工連携のかたち(製販ドリブンモデル)」**について、日本医療機器学会より著述賞受賞。

無理なく円滑な 製販ドリブンモデル

医療機器産業への参入のかたち

一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ 協理 柏野 聡彦
国立京都大学 学長 永井 良三

安定成長の医療機器産業で
ものづくり技術を活かす!
実例からわかる円滑に進む**事業化と難渋する事業化**
医療機器メーカー必見、研究開発への**投資を**
軽減しながら成長サイクルを回す**これからの医工連携**
地域の医工連携を担うコーディネーター必携!
じほう

イノベーションハブ京都(医薬系総合研究棟)

建物番号 68

アクセス: <http://www.ihk.med.kyoto-u.ac.jp/access>